

2023年4月13日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
取締役会 御中

株式会社シティインデックスイレブンス
代表取締役 福島啓修



拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

4月12日付貴社書簡を拝見しました。弊社は、最も重要なことは、貴社の再生エネルギー事業の今後のあり方について貴社取締役会で真摯に議論され、多くの株主の皆様が考えるべき姿を実現することであるとと考えております。再生エネルギー事業子会社の上場については、貴社と一定の資本関係を残すのか、残すとすればどの程度残すのか、資本関係の異動にスピンオフ税制を用いるのかといった資本関係上の課題、経営資源・人材・ノウハウなどの事業上の関係を残すのか、残すとすればどのようなものを残すのかといった事業上の課題、いつ上場をするのかという実施のタイミングについての課題など様々な検討課題があると考えており、弊社は特定の手法にこだわるものではありません。貴社取締役会は、貴社の企業価値・株主価値向上に最も資する選択は何かという観点から、再生エネルギー事業子会社の上場について真摯に議論を行い、その結果を公表すべきであると考えております。

しかるに、貴社は、2023年3月23日に公表した第7次連結中期経営計画の中で示された「再生エネルギー事業をバリューチェーン全体で成長させていくことこそが当社の企業価値最大化につながる」という考え方に固執しており、4月12日付貴社書簡においても「再生可能エネルギー事業に関するあらゆる選択肢について、当社取締役会において適時適切に審議・検討を行っており、今後についても、当社の中長期的な企業価値向上につながるご提案であれば同様に適時適切に審議・検討を行って参る所存です。」と抽象的に述べるのみで、再生エネルギー事業子会社の上場について取締役会で真摯に検討しようとする姿勢は見られません。また、山田代表取締役社長は3月23日の中期経営計画説明会でアナリストの質問に対し「コスモエコパワーは当社グループ内での人的交流が活発に行われており、スピンオフで切り離すことが事業価値最大化のために得策ではないと考えている。」と回答しております。そうではなく、貴社としては「再生エネルギー事業子会社の上場について取締役会で真摯に検討し、その結果を公表する所存である」ということであれば、その旨を4月14日までに公表願います。

上記公表がない場合、貴社は再生エネルギー事業子会社の上場について取締役会で真摯に検討するつもりはないものと判断し、貴社のこのような姿勢の当否については、弊社において「再生エネルギー事業子会社の上場について取締役会で真摯に議論し、その議論の結果を公表すること」を公約とする社外取締役1名の選任議案を株主提案することにより、本年

6月開催予定の貴社定時株主総会で株主の皆様のご判断を仰ぐ所存です。

敬具